

日常のお手入れと点検

【 製品の定期点検 】

《 可動部分の動作確認 》

● 座自動起立部の動作不良

座の起立不良は回転部にゴミ等の異物がはさまって起こる場合があります。
座回転部を点検しゴミや異物を除去してください。
異物を取り除いても直らない場合は弊社までご連絡ください。

《 固定部のねじの緩み～増し締めについて 》

製品の各パーツは強固に締結しておりますが、椅子は床に固定されていますので、長期の間には人の離着席によりボルト類が徐々に緩んでくる場合もあります。製品は定期的に点検し、ねじの緩んでいる箇所は締め直してください。

※ 作業を行うにあたっては作業に適した服を着用してください。
足元保護のため、安全靴の着用をお勧めいたします。

【 製品の汚れとお手入れ方法 】



注意

- ◆ 汚れ除去の際、シンナーやヘキサンなどの溶剤、塩素系の漂白剤、強酸、強アルカリの洗剤原液は使用しないでください。
◎ 表面が融けたり、色落ちや硬化現象等が生じます。
- ◆ 汚れ除去の際、コンパウンド系クリーナーは使用しないでください。
◎ 表面に損傷を与える恐れがあります。
- ◆ 汚れ除去の際、ワイヤーブラシや金属タワシは、使用しないで下さい。
◎ キズが付いたり、金属塗装品は塗装が剥離し錆の原因となる場合があります。
- ◆ 市販のクリーナーを使用する場合はその説明書にしたがってください。
◎ 目立たないところで試してから使用してください。
- ◆ 木部塗装品のお手入れにはワックスやアルコールを含んだクリーナーは使わないでください。
◎ 塗料が化学反応を起こし、くすみや変色、白化を招く恐れがあります。
- ◆ お手入れの際、電気器具、組付けネジ並びに塗装やめっき部分は水拭きしないでください。
◎ 水拭きによるめっきの錆や塗装の損傷の原因となる恐れがあります。
- ◆ 汚れの落とし方について、本書では応急処置について記しておりますが、汚れは放置しますと落ちにくくなります。
◎ 日常のお手入れが長く保つためのポイントです。

※ 製品をお手入れする際は本内容の「警告・注意」および各項目の手順や注意事項をよくお読みになり、正しく行ってください。
本書記載事項は関係者(管理者あるいは利用者)にご理解いただきますよう、ご説明願います。

お手入れ部分	汚れの種類	お手入れ方法
平織り布地 または ニット	「ホコリやチリ」	軽くたたか毛アシの柔らかいブラシで‘軽く’ブラッシングしてください。
	「水性汚れ」 飲物、汗等	スポンジや吸い取り紙等で、できるだけ汚れを吸い取ります。 次に中性洗剤をぬるま湯で溶かして染み込ませた白布で、汚れを必ず“たたくように”落してください。
	「油性汚れ」 脂肪食料、化粧品等	その後、張り地に洗剤が残らないように、更にぬるま湯を染み込ませた白布で仕上げ、ドライヤー等の低温で乾かしてください。
	注意事項	◎洗剤は必ず目立たないところで試してみて色落ちなど、問題がないことを確認してから使用してください。 ◎汚れは必ず“たたくように”落としてください。こすったりしますと汚れやシミが広がることがありますのでご注意ください。 ◎ゴシゴシと強くこすったり、ブラッシングしますと布地の風合いを損ねる恐れがありますのでご注意ください。
ビニールレザー	「ホコリやチリ」	柔らかいきれいな布でカラ拭きしてください。
	「水性汚れ」 飲物、汗等	きれいな布に水を含ませ固く絞り水拭きしてください。 その後、更にきれいな布でカラ拭きしてください。
	汚れがひどい場合	汚れがとれない場合、中性洗剤を染み込ませたスポンジで拭き取り、水拭きしてください。その後、更にきれいな布でカラ拭きしてください。
	「油性汚れ」 脂肪食料、化粧品等	弱アルカリ性の洗剤を汚れ面に吹き付け、布などで汚れを吸い取った後、きれいな布に水を含ませ固く絞り水拭きしてください。 その後、さらにきれいな布でカラ拭きしてください。
	注意事項	◎ビニールレザー表面には風合いを出すためシボ加工(凹凸)を施しています。シボの凹部に汚れが溜まらないよう、柔らかかなナイロンブラシを併用し汚れを落としてください。 ◎水拭き洗浄後は十分に乾燥してください。水分が残ると変色や劣化の原因になりますのでご注意ください。 ◎洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないようにしてください。洗剤が布地の表面に残っていると変色や劣化の原因になりますのでご注意ください。 ◎乾燥させる際のドライヤーの使用は布地を縮ませる恐れがありますので使用しないでください。
モケット	「ホコリやチリ」	軽く叩か毛アシの柔らかいブラシで‘軽く’ブラッシングし、パイルの毛並方向を揃えてください。
	「水性汚れ」 飲物、汗等	スポンジや吸い取り紙等で、できるだけ汚れを吸い取ります。 中性洗剤をぬるま湯で溶かして染みこませた白布で、汚れを必ず“たたくように”落してください。張り地に洗剤が残らないように更にぬるま湯を染み込ませた白布で仕上げてください。
	「油性汚れ」 脂肪食料、化粧品等	パイルの毛並方向を揃えるようにドライヤー等の低温で乾かしてください。
	注意事項	◎洗剤やベンジンは必ず目立たないところで試してみて色落ちなど、問題がないことを確認してから使用してください。 ◎汚れは必ず、“たたくように”落としてください。 こすったりしますと汚れやシミが広がることがありますのでご注意下さい。

上張り

お手入れ部分	汚れの種類	お手入れ方法
塗装部分 (金物部木部等)	「ホコリやチリ」	柔らかいきれいな布でカラ拭きしてください。
	汚れがひどい場合	汚れのひどい部分は市販の家具用クリーナーで拭き取った後、きれいな布でカラ拭きしてください。
	注意事項	◎家具用クリーナーは目立たないところで試して問題がないことを確認してから使用してください。 ◎こすり過ぎると素地や塗装の損傷を招くことがありますのでご注意ください。 ◎お手入れの際、組付けねじ及びに塗装部分は水拭きしないでください。水拭きによるめっきの錆びや塗装の損傷を招く恐れがあります。 ◎木部塗装品のお手入れにはワックスやアルコールを含んだクリーナーは使わないでください。塗料が化学反応を起こし、くすみや変色、白化を招く恐れがあります。
	「ホコリやチリ」	柔らかいきれいな布でカラ拭きしてください。
プラスチック部分	「水性汚れ」 飲物、汗等	きれいな布に水を含ませ固く絞り、水拭きしてください。その後、更にきれいな布でカラ拭きしてください。
	「油性汚れ」 脂肪食料、化粧品等	液状の家具用クリーナー又は中性洗剤を布やスポンジに含ませたもので拭きとってください。洗剤を残さないために、きれいな布に水を含ませ固く絞り、繰り返し水拭きしてください。その後、更にきれいな布でカラ拭きしてください。
	注意事項	◎洗剤を使用した後の水拭きは洗剤が完全に拭き取れるまで繰り返してください。 ◎家具用クリーナーは目立たないところで試して問題がないことを確認してから使用してください。
	「ホコリやチリ」	柔らかいきれいな布でカラ拭きしてください。
筆記台表面 (メラミン化粧板)	「水性汚れ」 飲物、汗等	きれいな布に水を含ませ固く絞り、水拭きしてください。その後、更にきれいな布でカラ拭きしてください。
	汚れがひどい場合	中性洗剤を布やスポンジに含ませたもので拭きとってください。洗剤を残さないために、きれいな布に水を含ませ固く絞り、繰り返し水拭きしてください。その後、更にきれいな布でカラ拭きしてください。
	「油性汚れ」 脂肪食料、化粧品等	柔らかい布に少量のベンジンを取り、手早く汚れを移し取るように拭き取ってください
	「油性汚れ」 脂肪食料、化粧品等	柔らかい布に少量のベンジンを取り、手早く汚れを移し取るように拭き取ってください

※ 以上についてはお手入れが必要な際の応急処置について簡単に記載しております。
 修理の具体的な方法につきましては損傷の程度により異なりますので、ご相談いただきますようお願いいたします。